

第2学年1組 生活科授業案

1 単元 おもてなし おもちゃであそんで なかよしね —保育園児との交流—

2 目標

- ・身近にある材料を用いたおもちゃ作りを通して、おもちゃを作るおもしろさと、学級の友達や保育園児などの人とかかわることのよさに気づくことができる。 (知識・技能)
- ・保育園児に楽しんでもらうために、おもちゃの作り方や遊び方をどのように工夫すればよいかを考えることができる。 (思考・判断・表現)
- ・おもちゃ作りの工夫を通して、すすんで学級の友達や保育園児とかかわり、自分の思いを大切にしながら、保育園児に楽しめるように遊びをつくり出そうとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)

3 子どもをとらえ、願いをかける

係活動や当番活動において協力的に取り組む、自分の役割を果たす子どもたち。人手が足りない仕事を見つけると、すすんで手を差し伸べる姿も見られる。また、自分の力でやり遂げたいという強い気持ちをもって、納得のいくまで活動に取り組む様子がうかがえる。1学期の生活科単元「夏野菜の栽培」においては、こつこつとお世話に取り組む、収穫の喜びを味わうことができた。そこでは、野菜の成長に関心をもち、友達や指導者のアドバイスを取り入れながら、自らお世話に取り組む姿が見られた。

そのような子どもたちだからこそ、よりいっそう人とかかわりを大切に、自分と友達の考えを比べたり、よい考えを取り入れたりして、友達と協力して活動に取り組んでほしい。また、かかわる相手の好みや興味を知り、相手の喜びを願いながら活動をする経験を通して、人のために行動するよさに気づいてほしいと願った。

4 教材を選定し、単元を見通す

子どもたちへの願いを具現するため、「おもちゃを活用した保育園児との交流」を教材に選定し、次のように単元を見通した。

- | |
|---|
| ・身近にある材料を用いたおもちゃ作りは、製作も改良も容易である。保育園児におもちゃで楽しんでもらうために、保育園児の好みや興味に合わせて創意工夫することが可能である。更に、おもちゃの遊び方や接し方などを保育園児の目線に合わせて考えていくことができる。 |
|---|

○教材と出会う

身近にある材料を用いたおもちゃを作った子どもたちは、いろいろな人と遊びたいと願うであろう。そのタイミングで、明照保育園の年長児（1グループ2人程度の園児、以下、ペア園児）と出会う場を設ける。交流を通して、ペア園児に関心をもち、自分たちの作ったおもちゃで一緒に遊びたいという思いを抱くであろう。

○思いや願いを確かめ合う

そこで、自分が作ったおもちゃでペア園児と遊ぶ場を設ける。ペア園児の様子から、うまくいったことや困ったことを感じ取ったタイミングで、思いや願いを確かめ合うかかわり合いを設定する。ペア園児とおもちゃで遊んで気づいたことをかかわらせる中で思いが語られ、「作ったおもちゃでペアのお友達に遊んでもらい、もっと仲よくなりたいな」という思いや願いが膨らむであろう。

○活動を見直す

子どもたちは、ペア園児のことをもっと知りたいと考えるであろう。そこで、ペア園児とふれ合う場を設けて聞き取りを行い、ペア園児の好みや興味に合わせたおもちゃ作りに取り組む。自分たちの作るおもちゃがペア園児を楽しませることができるか気になりだしたタイミングで、友達とおもちゃを見比べ、アドバイスをし合う。そして、自分たちの作るおもちゃをパワーアップさせたいという思いが高まったタイミングで、活動を見直すかかわり合いを行う。かかわり合いを通して、ペア園児に対する思いを高め、おもちゃ作りや遊び方を更に工夫する必要性に気づき、ペア園児とのおもちゃ遊びに向けて再度活動に向かうであろう。

○活動を振り返る

ペア園児とのおもちゃ遊びを終え、ペア園児の楽しむ姿を見て満足感を抱いたタイミングで活動を振り返るかかわり合いを設定する。ペア園児をもてなすために、ペア園児の好みや興味を踏まえたおもちゃ作りや遊び方を工夫してきたこれまでの努力が語られるであろう。そこで、自分と友達の考えを比べたり、よい考えを取り入れたりしたことで、友達と協力して活動に取り組んできたことに気づくであろう。そして、かかわる相手の好みや興味を知り、相手の喜びを願いながら活動をする経験を通して、人のために行動するよさに気づき、今後の生活にいかそうとするであろう。

6 本時の学習

(1) 目標

- ・おもちゃをパワーアップさせるためにはどうしたらよいか考えを伝え合う中で、ペア園児のことを思いやりながら、おもちゃ作りや遊び方の工夫の仕方考えることができる。(思考・判断・表現)

(2) 展開

時間	学習の流れ	●かかわり合いにおける教師支援	★評価
	おもちゃをパワーアップさせるためにはどうしたらいいのかな		
	<p style="text-align: center;">動くおもちゃの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴムロケットをもっと跳ぶようにしたいよ ・ジャンプガエルのゴムの数を2つにしたら、1m跳んだよ ・クラスの友達に、「かわいくして。」って言われたから、かわいく飾りつけしたいよ ・ウインドカーがあんまり速く走らないから、速く走るにはどうしたらいいのかな ・ゴムロケットの的の大きさがわからないよ 	<p style="text-align: center;">ペアのお友達の好きなおもちゃ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアのお友達が、「ビー玉転がしをやってみたい。」って言ったから作ったけど、すらすら動かないところがあるから直したいよ ・ペアのお友達は折り紙が好きで、「折り紙の王国」を作りたいって言ったから、折り紙をいっぱい作ったよ ・紙コップでUFOキャッチャーを作って、私もペアのお友達も楽しみたいよ 	
	<p>●困りごとがある友達のおもちゃや遊び方に対するアドバイスを通して、ペアのお友達に楽しく遊んでもらいたいという思いを高められるよう、おもちゃ作りや遊び方について困りごとが出されたタイミングで、どうしたら解決するか切り返す。(切り返し)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴムロケットの的は、ペアのお友達が狙いやすいように、大きくするといいよ ・ウインドカーは、飾りつけすると重くなって速く走らなくなるから、飾りは少しにして、風受けのところにかわいい絵を描いたらどうかな ・ジャンプガエルやゴムロケットは、ゴムの数を増やして丈夫にすると、もっと跳ぶよ ・おもちゃを直して、ペアのお友達に楽しく遊んでもらいたいよ 		
20	ペアのお友達に楽しく遊んでもらうために、ルールや遊び方はどうしたらいいのかな		
	<p style="text-align: center;">ルール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間を区切って、全部の遊びができるようにするよ ・同時に跳ばして、いちばん遠くに跳んだ人が勝ちにするよ ・的に狙って、得点のいちばん高い人が勝ちにするといいな ・スタートとゴールを決めて、速くゴールした人の勝ちにするよ 	<p style="text-align: center;">遊び方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・順番に一人ずつ遊んで、みんなに楽しんでもらうよ ・おもちゃをたくさん作って、一緒におままごとやUFOキャッチャーをしてもらうよ ・人数分作って、一緒に遊べるようにしたいな ・全部のおもちゃで遊んでもらえば、飽きないはずだよ 	<p style="text-align: center;">ペアのお友達</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアのお友達に楽しんでもらえるように、遊び方を優しく教えてあげるよ ・勝った子に景品をあげたり、参加賞をあげたりすれば、喜んでもらえるよ ・おもちゃを大事に使ってもらうように、使い方を教えるよ
35	今日の授業を振り返って思ったこと		
	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスの友達と話し合っ、ペアのお友達にもっとおもちゃで遊んで喜んでもらいたいと思ったよ ・ペアのお友達に気に入ってもらえるように、おもちゃをもっとパワーアップさせていくよ ・ペアのお友達が楽しめるように、遊びをもっと楽しくするよ ・ルールや遊び方を決めて、ペアのお友達みんなが楽しめるようにしたいな ・ペアのお友達のことを考えて、これからもがんばるよ 	<p>★ペア園児のことを思いやりながら、おもちゃ作りや遊び方の工夫の仕方を考えて、発言したり、記述したりすることができたか。(かかわり合い・振り返り)</p>	